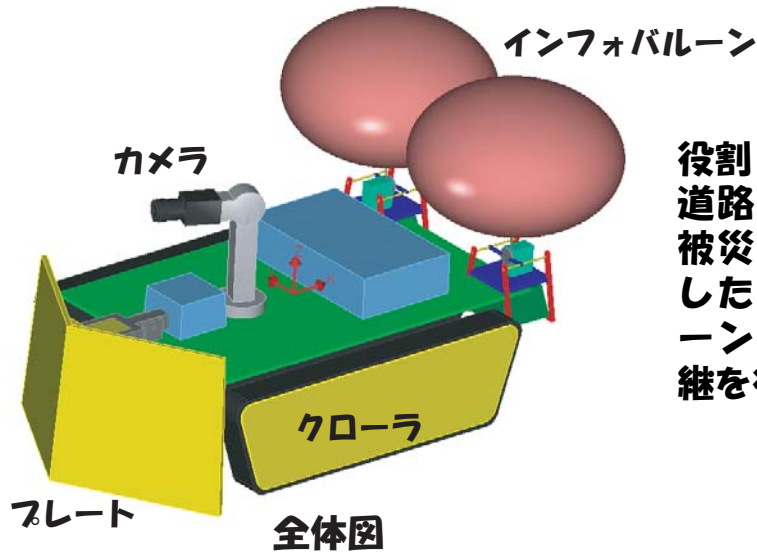


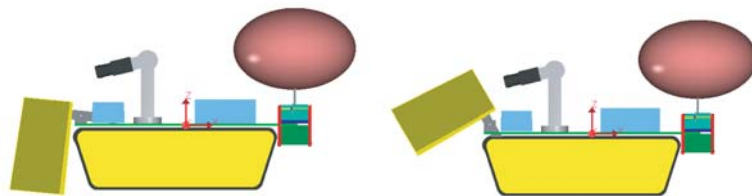
チーム名	チームが関係する団体名
ミノース	岐阜工業高等専門学校
注：チーム紹介用紙は1ページ以内で書いて下さい。 チーム名の由来 私達の住んでいる美濃地方を東海大震災から守りたいという強い想いを込めて名付けた。 レスキュー活動上の特徴 今年のキーワードは... 安心、确实 私たちは精神的、肉体的に疲弊している被災者に対し、ロボットを用いた救助によって余計な不安や恐怖を与えないために、「やさしさ」を考慮した救出活動を目指しています。具体的には、救助隊が到着したということを知らせて被災者に安心感を与えるインフォバルーンや、アームを用いて被災者を持ち上げる方法ではなく、小型の自走式アームを用いた救助方法を採用し、寒さや衝撃から保護するベッドや毛布を搬送用ロボットに搭載します。 [インフォバルーン] 被災者に救助隊の到着を、また、ロボットや救助隊に被災者の位置を知らせ、迅速な救助の手助けをします。2つ目はベース部分に救助用の道具を格納し、地域住民や救助隊などに供給する役割を持ちます。 [自走式アーム] 被災者を上から驚づかみにして救助するのではなく、救助ロボットに引き込む形で救助するという特徴があります。 [ベッド・毛布] 救出口ロボットは被災者を収容した後、衝撃を吸収するためにベッドを用意し、毛布をかけることにより、被災者の安全に確保し、体力の低下を抑制します。 ロボットの役割 ＜1号機＞ 「MG-R1」（現場中継ロボット） 機能：瓦礫除去・被災者発見・災害現場中継・インフォバルーンの設置 ＜2・3号機＞ 「MG-R2, MG-R3」（救出口ロボット） 機能：被災者救出・被災者搬送 ＜4・5号機＞ 「MG-Info1, MG-Info2」（インフォバルーン） 機能：救助用道具設置・情報伝達 救助活動の流れ まず始めに先発隊として現場中継ロボットが発進して、通路の確保を行いながら、迅速に被災者（ダミヤン）を発見します。そして、その現場の瓦礫除去も行って救出口ロボットの作業スペースを確保します。また、被災者（ダミヤン）の存在位置の目印としてインフォバルーンを設置します。 救出口ロボットがインフォバルーンを目印に現場に向かいます。救出口ロボットがそれぞれの現場に到着したら、救出口ロボットは自走式アームを伸ばし、被災者（ダミヤン）に近づき、独立駆動アームを用いて救助します。この時に、現場中継ロボットは作業現場の様子を中継して、救助活動がスムーズにいくように支援します。 救出口ロボットは救出が完了したら帰還します。そして、インフォバルーンは現地に残すことで必要な情報を被災者に伝達して活躍します。 チームの紹介 今年は、ミノースはやります！ ミノースは、岐阜工業高等専門学校の学生で構成されています。去年は、救出できなかったのもので、その悔しさをバネに「やさしく」「安心」「确实」な救助方法を目指します。	

チーム名		チームが関係する団体名	
ミノース		岐阜工業高等専門学校	
第1号機	ロボット名（フリガナ） エムジーアールワン MG-R1	ロボットの分類(規定 2.3.2 参照) 移動・基地・受動	

このロボットのアイデアや構造がよくわかるように図を含めた説明を書いてください。ロボットの1機につき1ページ以内で書いてください。1ページを越える内容については審査しません。同一形式のロボットを2機以上出すときは、1機分（X号機とする）のみ1ページにアイデアを書き、そのほかの号機のロボットアイデア用紙には『X号機と同じ』とだけ書いてください。



役割（現場中継ロボット）
道路の瓦礫を除去して道を作り、被災者を発見する。そして発見したら目印としてインフォバルーンを設置して、救出現場の中継を行うロボット。



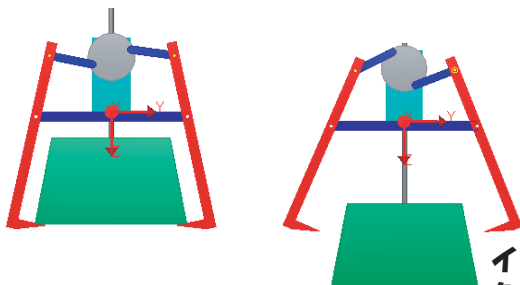
フレートの開閉

路上の瓦礫を除去し、救出口ロボットの経路と作業スペースを確保する。走破性向上のため必要に応じてフレートを上下に動かして開閉する。



カメラアーム

広範囲の視野を確保する2自由度のカメラアームを持ち、進行方向や救出現場の様子を中継する。



インフォバルーンの設定

被災者発見の目印となるインフォバルーンを運搬し、救出現場に設置する。

インフォバルーンを投下する

主クローラ

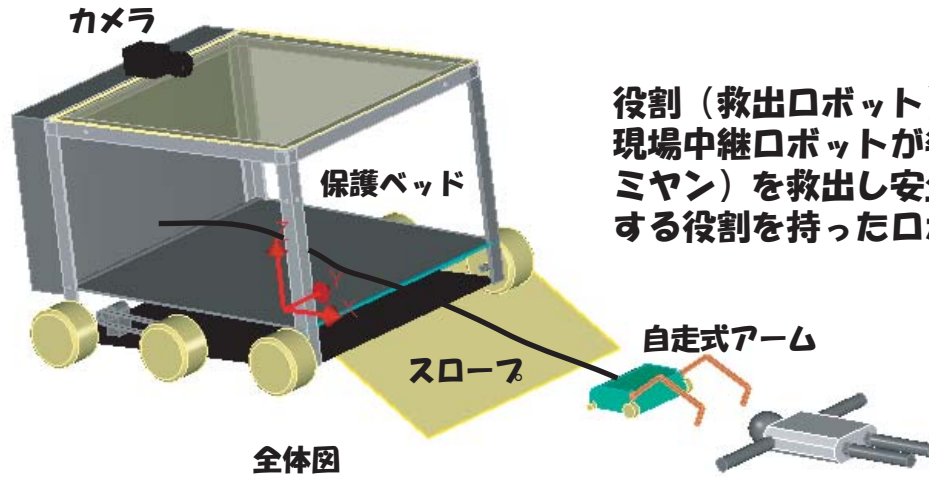


補助クローラ

走破性を考慮した補助クローラを有し、腹ばいになっても移動ができる。

チーム名		チームが関係する団体名	
ミノース		岐阜工業高等専門学校	
第2号機	ロボット名 (フリガナ) エムジーアール トゥー MG-R2	ロボットの分類(規定 2.3.2 参照) 移動 ・ 基地 ・ 受動	

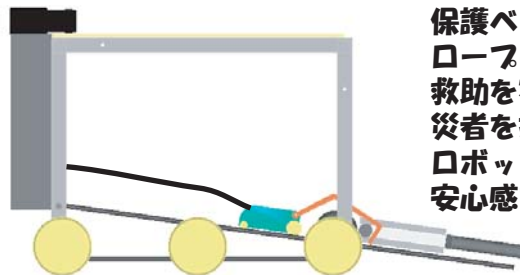
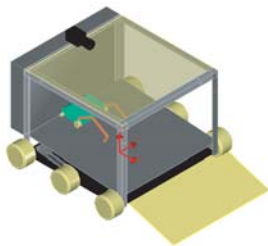
このロボットのアイデアや構造がよくわかるように図を含めた説明を書いてください。ロボットの1機につき1ページ以内で書いてください。1ページを越える内容については審査しません。同一形式のロボットを2機以上出すときは、1機分(X号機とする)のみ1ページにアイデアを書き、そのほかの号機のロボットアイデア用紙には『X号機と同じ』とだけ書いてください。



役割 (救出口ロボット)
現場中継ロボットが発見した被災者 (ダミヤン) を救出し安全なところまで搬送する役割を持ったロボット。

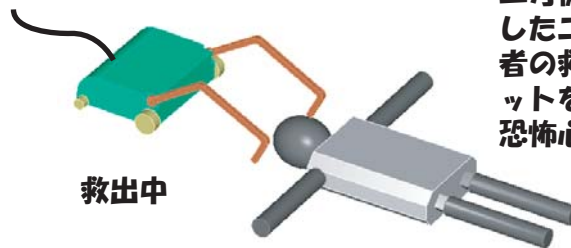
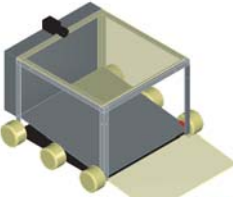
全体図

現場到着



保護ベッド底部が傾斜しスロープの一部となることで救助を容易にする。また被災者を持ち上げることなくロボットに収容することで安心感をあたえる。

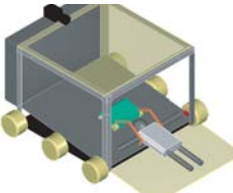
自走式アームによる救助



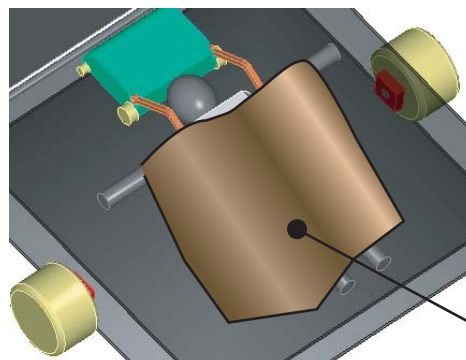
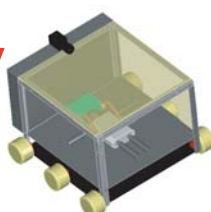
救出中

二号機の自走式アーム。独立した二本のアームを持ち被災者の救出を行う。小型のロボットを用いることで被災者の恐怖心を和らげる。

収容



救助完了



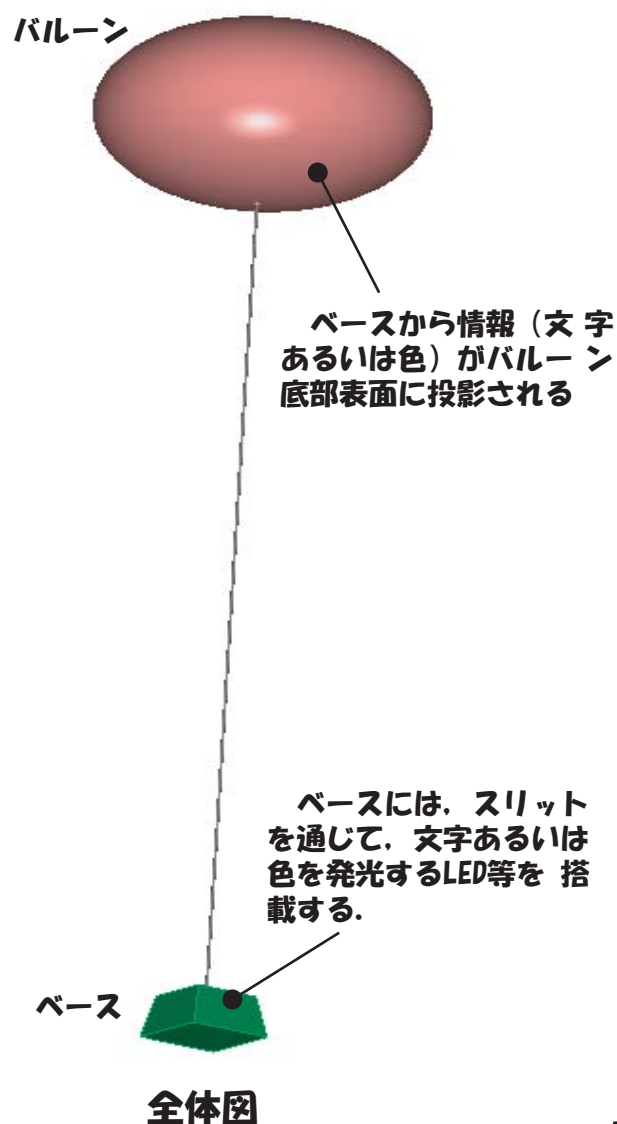
被災者を救出した後、ロボット内にベッドを設置し被災者に毛布を掛け、被災者を優しく運搬し安心感を与える。

毛布

チーム名 ミノーズ		チームが関係する団体名 岐阜工業高等専門学校	
第 3 号機	ロボット名（フリガナ） エムジーアール スリー MG-R3		ロボットの分類(規定 2.3.2 参照) 移動 ・ 基地 ・ 受動
このロボットのアイデアや構造がよくわかるように図を含めた説明を書いてください。ロボットの1機につき1ページ以内で書いてください。1ページを越える内容については審査しません。同一形式のロボットを2機以上出すときは、1機分（X号機とする）のみ1ページにアイデアを書き、そのほかの号機のロボットアイデア用紙には『X号機と同じ』とだけ書いてください。 2号機と同じ			

チーム名		チームが関係する団体名	
ミノーズ		岐阜工業高等専門学校	
第4号機	ロボット名（フリガナ） エムジーインフォ ワン MG-Info1	ロボットの分類(規定 2.3.2 参照) 移動 ・ 基地 ・ 受動	

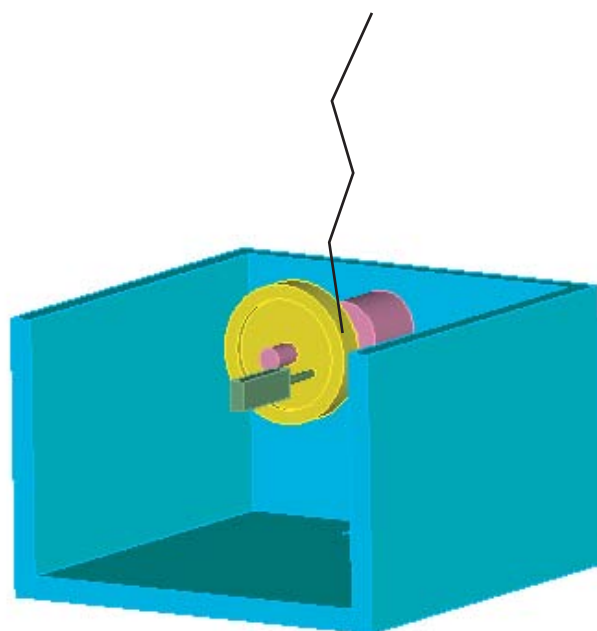
このロボットのアイデアや構造がよくわかるように図を含めた説明を書いてください。ロボットの1機につき1ページ以内で書いてください。1ページを越える内容については審査しません。同一形式のロボットを2機以上出すときは、1機分（X号機とする）のみ1ページにアイデアを書き、そのほかの号機のロボットアイデア用紙には『X号機と同じ』とだけ書いてください。



役割(インフォバルーン)

現場中継ロボットによって設置された後、バルーンを高く上げることで救助ロボットに被災者位置を伝達し、救助ロボットの迅速な到着を補助する。また、被災者や周囲の住民への音声による情報伝達も行う。

ベース部分の格納庫に応急道具を収納し、現場へ供給することで迅速な応急処置を補助する。



上昇機構

ベース底部のスイッチが入るとバルーンが上昇する。同時に音と光が出力される

特徴

バルーンを高く上げることで救助ロボットに被災者の位置を伝達して迅速な到着を補助する。またベース部分から光を当てることで文字情報の表示を行ったり夜間でもバルーンが発見できるようにする。

音声を発することにより、被災者やレスキュー隊、近隣の住民などに情報伝達が可能となる。

実際の現場において、格納庫から現場に応急道具を供給でき、被災者の応急処置を行うことができる。被災者の応急処置を行うことができる。

チーム名 ミノーズ		チームが関係する団体名 岐阜工業高等専門学校
第 5 号機	ロボット名（フリガナ） エムジーインフォ トゥー MG-Info2	ロボットの分類(規定 2.3.2 参照) 移動 ・ 基地 ・ 受動

このロボットのアイデアや構造がよくわかるように図を含めた説明を書いてください。ロボットの1機につき1ページ以内で書いてください。1ページを越える内容については審査しません。同一形式のロボットを2機以上出すときは、1機分（X号機とする）のみ1ページにアイデアを書き、そのほかの号機のロボットアイデア用紙には『X号機と同じ』とだけ書いてください。

4号機と同じ